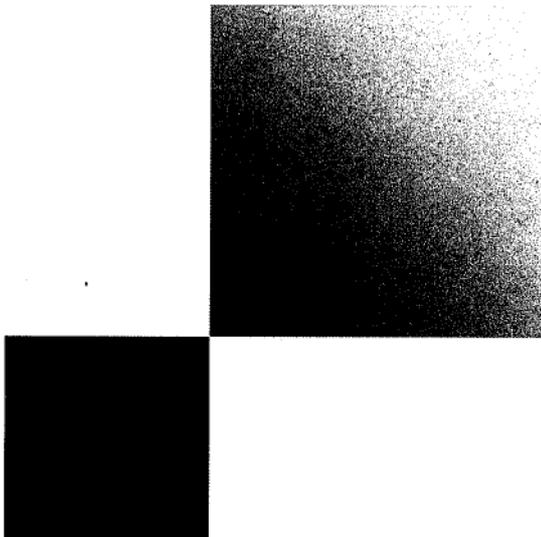


ISSN 1348-7558



# 滋賀医科大学看護学ジャーナル

Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science  
JN-SUMS



Vol. 4, No. 1, 2006

滋賀医科大学医学部看護学科

## 目 次

|   |    |
|---|----|
| 巻頭言   | 1  |
| 編集委員長 今本喜久子   |    |
| 原著  |    |
| 中高年女性の踵骨における超音波 Stiffness の推移   | 4  |
| 今本喜久子・北村 文月・藤本 悦子・新穂千賀子   |    |
| 看護師のコンピテンシー 患者・看護師・医師からの情報に基づいて   | 12 |
| 坂口 桃子・作田 裕美・新井 龍・中嶋美和子・田村美恵子<br>木川真由美・村井 嘉子                                   |    |
| 上肢細胞内外水分比の検討 バイオインピーダンス法による測定   | 19 |
| 作田 裕美・佐藤 美幸・坂口 桃子・宮腰 由紀子・片岡 健<br>中嶋美和子・田代 亮祐・新井 龍                             |    |
| 交感神経遮断剤( ブロッカー)が心理面及び身体面に及ぼす影響  | 24 |
| 古川 友紀・田畑 良宏・秦 朝子・荒川千登世・辻井 靖子・林 静子・谷岡 亮子<br>池田麻衣子・糸井 美帆・林 友子・近藤 弘子・園田 奈央・吉崎 文子 |    |
| 高齢者看護学実習における通所介護(デイサービス)1日体験の学生の学び  | 32 |
| 実習レポートの分析より<br>田中小百合・太田 節子  |    |

|   |    |
|---|----|
| 0～3歳児を持つ母親の養育意識・行動に対する父親及び母親の性役割態度の影響 ----- | 40 |
| 玉里八重子・岡山 久代                                 |    |
| 不妊女性の体外受精への思い -----                         | 45 |
| 宮田 久枝・阿部 正子                                 |    |
| 在日外国人への多言語対応の必要性について -----                  | 51 |
| 鈴木ひとみ・高嶋 愛里・重野亜久里・畑下 博世                     |    |
| 報告・資料                                       |    |
| 看護学生の口腔ケア史と母親の関わりからみた口腔ケア教育への指針 -----       | 58 |
| 森 美春・西山ゆかり・土岐沢 緑                            |    |
| 安楽性と快適性の共通点・相違点 -----                       | 67 |
| 看護技術における安楽性と日常生活の中の快適性から                    |    |
| 林 静子  |    |
| わが国の転倒に関する10年間の看護研究の動向 -----                | 72 |
| 三宅 依子・荻田美穂子・岡本 真優・森本 明子・宮松 直美               |    |
| 投稿規定 -----                                  | 77 |
| 編集後記 -----                                  | 80 |
| 太田 節子                                       |    |

## 「滋賀医科大学看護学ジャーナル」投稿規定

本誌の和文名称は「滋賀医科大学看護学ジャーナル」、

英文名称は“Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science”(JN-SUMS)とし、原則として1年に1回発行する。

本誌発行の目的は次の通りとする。

1. 看護学の学術的な発展に寄与する。
2. 研究発表の場を提供するとともに、学際的な共同研究活動を促進する。
3. 研究・教育活動の成果をひろく社会へ還元する。

掲載される原稿は次の通りとする。

看護学ならびに看護学に関連する研究領域で、次の範囲に含まれるものとする。

投稿原稿は未発表で、かつ二重投稿していないものに限る。

1. 原著論文：独創的で新しい知見を含むもの
2. 報告、資料：研究として報告し記録にとどめる価値のあるもの
3. 総説、論説：研究の総括、文献についてまとめたものや提言など

### 投稿資格

本誌の目的に合致しており、本学教員が関与した論文であることとする。

### 掲載の決定

原稿の種類と投稿論文の採否は、査読者の意見を参考にして編集委員会が決定する。

査読者は2名とし、編集委員会が依頼した者が当たる。

「看護学ジャーナル」に掲載された全論文の著作権は、滋賀医科大学に帰属する。

製本と同時にPDFファイルを作製して滋賀医科大学ホームページに掲載する。

### 執筆要領

1. 原稿提出時：査読用原稿2部と製版済み原稿1部を同時に提出する。  
査読用原稿はA4版横書き、1.5行スペース30行  
(余白：上下25mm 左右20mm)とする。  
製版用フォーマットは投稿申し込みをうけて配布する。
2. 査読用原稿提出時には、以下の事項を記載した用紙を添付する。
  - 1) 表題 (和文と英文)
  - 2) 著者名と所属部署名
  - 3) 希望する原稿の種類 (原著論文、報告、資料、総説、論説)
  - 4) 図表および写真などの枚数
  - 5) ランニングタイトル(30字以内)
  - 6) 必要な別刷部数

- 7) 連絡先 (E-mail アドレスと電話)
3. 査読用原稿は原則として次の順序でまとめる。
    - 1) 表題 (ただし著者名と所属部署名は記載しない)
    - 2) 和文抄録 : 400 字程度
    - 3) キーワード : 5 語句以内
    - 4) まえがき
    - 5) 本論
    - 6) むすび
    - 7) 文献
    - 8) 原著論文の場合 : 英文タイトル、英文著者名、英文所属名、英文抄録 (250 語程度) を文末につける。
    - 9) 英文キーワード : 5 単語以内
    - 10) 図表と説明文 : 図表および写真は必要最低限とし、図 1、表 1、写真 1 などの簡潔な表題をつける。
  4. 謝辞をつける場合は、査読段階では別紙にまとめる。
  5. 文字と表記については以下の通りとする。
    - 1) 外来語はカタカナで、外国人名や適当な日本語訳がない言葉は原則として活字体の原綴りで書く。
    - 2) 略語は初出時に正式用語で書く。

#### 文献の書き方

文献は、本文中の引用順に該当箇所の右肩に1)、2)と上付で番号を付し、本文最後の文献欄に引用順に一括して記載する。

#### 例 : 【雑誌の場合】

- 1) 滋賀太郎, 瀬田花子: 高齢者のストレスの特徴とメンタルケア. 日本老人看護学会雑誌, 8(3), 55-61, 2003.
- 2) Riggio R. E., Tucker J.: Social skills and deception ability. Personality and Social Psychology Bulletin, 13, 568-577, 1987.

#### 【書籍の場合】

- 3) 滋賀太郎: 臨床看護学ハンドブック. 23-52, 朝日書店, 大阪, 1995.

#### 【編集者の場合】

- 4) 大津浜子: 非言語コミュニケーションを用いた看護. 滋賀太郎, 瀬田花子 (編): 臨床看護技術 II, 111-126, 日本看護技術学会出版, 東京, 1998.

- 5) Otsu H.: An approach to the study of pressure sore. In Suzuki Y., et al. (Eds): Clinical Nursing Intervention, 236-265, Nihon Academic Press. New York, 1966.

【電子文献の場合】

- 6) ABC 看護学会：ABC 看護学会投稿マニュアル . 2003-01-23 (入手日)  
<http://www.abc.org/journal/manual.html>

最終の製版原稿の提出方法

1. 著作権譲渡同意書について、所定の様式により共著者全員の署名押印を添付する。
2. 査読者および編集委員会の指摘点を検討して修正し、製版した論文原稿のプリントと論文のファイルをフロッピーディスク (FD)、MOまたは USBフラッシュメモリーのいずれかに入れて提出する。FD、MO、USBには筆頭者氏名、パソコン機種 OS名、ソフト名を添付する。
3. 原稿は「製版原稿とFD (MO または USB) 在中」と朱書きした封筒に入れて提出する。
4. 原稿の提出先ならびに問い合わせ先  
滋賀医科大学医学部 看護学科事務室気付  
「滋賀医科大学看護学ジャーナル」編集委員会  
Tel : 077-548-2455

校正

初校のみ著者がおこなう。

著者が負担すべき費用

1. 別刷は実費にて作成することができる。
2. 規定の枚数を超過した原稿・図表・カラー写真など印刷上特別な費用を必要とした場合は、著者負担とする。

附則：この投稿規定は、平成17年4月1日から施行する。

滋賀医科大学看護学ジャーナル  
第4巻 第1号

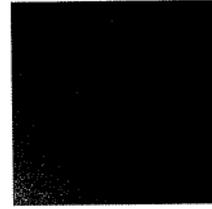
平成18年3月1日 印刷

平成18年3月15日 発行

発行所 滋賀医科大学  
〒520-2192  
滋賀県大津市瀬田月輪町  
TEL 077-548-2111 (代)

発行責任者 吉川 隆一  
印刷所 宮川印刷株式会社

ISSN 1348-7558



**Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science**  
**JN-SUMS**

**Vol. 4, No. 1, 2006**

**Shiga University of Medical Science, Faculty of Nursing**